

対談

「父・木村素衛からの贈りもの」

もともり

ゲスト ● 張さつき氏 (木村素衛氏四女) 聞き手 ● 浅見洋 (西田哲学館長)
特別ゲスト ● 高坂節三氏 (高坂正顕氏三男)
参加費無料、申込不要



昭和十五年頃、さつきさんを抱く木村素衛 (信濃教育会蔵)

西田幾多郎から大きな影響を受けた教育哲学者、木村素衛。戦後の教育界をけん引する人物として期待されていました。が、微熱をおして講演に向かった信州で、昭和二十一年二月十二日に急逝しました。五歳で父を亡くした四女・さつき氏より、多くの出会いを通して育まれた父親像についてお話いただきます。また特別ゲストとして、高坂正顕氏三男・節三氏もお招きすることになりました。木村素衛と高坂正顕は京都帝大同期入学で、西田幾多郎から教えを受けた友人関係でした。隣同士に住むなど家族的な交流が続いた木村家・高坂家の、心あたたまるエピソードをお聞きする貴重な機会です。

※本対談は、当初平成二十九年十月二十二日に予定していましたが、悪天候のため延期となり日を改めて実施するものです。

企画展
関連
イベント

平成30年2月12日(月・祝) 10:30 ~ 12:00
石川県西田幾多郎記念哲学館 哲学ホール

関連講座

平成30年2月24日(土) 13:30 ~

「ある教育学論—西田幾多郎と木村素衛の場合—」

金沢ふるさと偉人館長 輪島道友氏 / 参加費 500円 * / 申込不要 * 西田幾多郎哲学講座年間受講者は無料

企画展
開催中

木村素衛

—西田幾多郎に愛された教育哲学者—

平成30年3月25日(日)まで

木村素衛(1895-1946 / 石川県加賀市出身)は、美学を基盤に独自の教育哲学を構築しました。理想に燃えて果敢に挑み、繊細な感性で小さなものたちの美しさを愛して止まないロマンチスト。幾多郎もその才能と人柄を愛しました。二人の師弟関係を軸に「愛の人」木村素衛を紹介しています。



石川県 西田幾多郎記念哲学館

Ishikawa NISHIDA KITARO Museum of Philosophy

〒929-1126 石川県かほく市内日角井1 TEL(076)283-6600 FAX(076)283-6320

URL <http://www.nishidatsugakukan.org/> E-mail nishida-museum@city.kahoku.ishikawa.jp

開館時間 ■ 9:00 ~ 21:00 (入館は20:30まで)

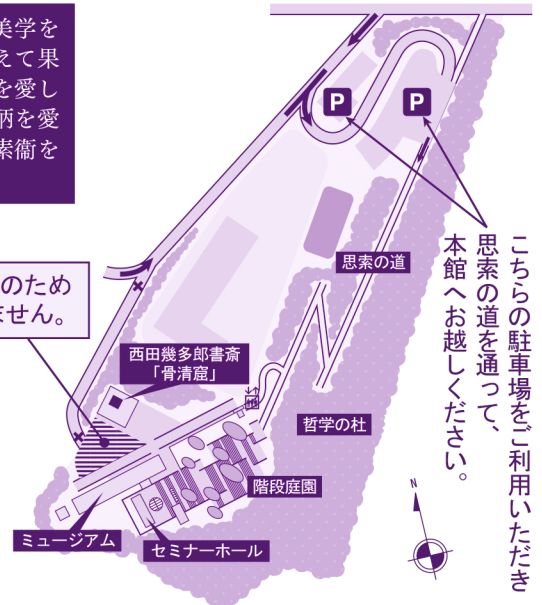
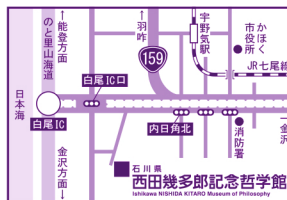
休館日 ■ 月曜日 (祝日の場合は翌平日)、年末年始 (12月29日~1月3日)

観覧料 ■ 一般300円 / 高齢者(65歳以上)200円 / 高校生以下無料

交通アクセス

【車利用】北陸自動車道 [金沢東IC]-国道159号線(約20分)
のと里山海道 [白尾IC]-約5分

【JR利用】金沢駅-IRいしかわ鉄道線・七尾線(約25分)-宇野気駅-
徒歩(約20分)-哲学館



こちらの駐車場をご利用いただき
思索の道を通って、
本館へお越しください。